

令和2年 4月

令和2年度 研究助成に関する募集のお知らせ

一般財団法人 日本デジタル道路地図協会
理事長 奥平 聖

一般財団法人日本デジタル道路地図協会は、昭和63年の設立以来32年に亘って、我が国の主要な道路を網羅した全国デジタル道路地図データベース(以下「DRMデータベース」という)を整備、更新、提供しております。DRMデータベースは、道路に関する計画、管理、利用情報の提供等の目的で道路行政のシステムにおいて用いられるとともに、カーナビゲーション等広く国民が利用する民間のシステムでも利用され、官民共通の社会基盤、いわばソフトインフラとして無くてはならないものになっています。

現在、道路交通の分野では、IT技術を駆使して道路利用の安全性・利便性の向上や環境負荷の低減等を目指すITS(高度道路交通システム)の開発が活発に行われ、その実用化が推進されております。また、自動運転システムの研究開発等も進展しており、これらのITS技術の実現のために、正確なデジタル道路地図が不可欠であると認識されるようになって参りました。

このようなことから、当協会といたしましても、自らデジタル道路地図に関する調査、研究を一層推進するほか、平成18年度から大学等研究機関への助成制度を創設し、この分野の調査、研究の支援を図ってきたところです。

本年度も当該分野の研究課題に関して助成対象となる研究を募集することと致しましたので、募集要領とともにご案内いたします。

研究助成募集要領

1. 応募資格

国内の国公立大学、高等専門学校等を本務先として勤務又は従事する者

2. 研究課題

2.1 研究課題の分野区分

研究課題として次の2つの分野に区分します。

分野Ⅰ： DRM 協会が特別に設定する分野

分野Ⅱ： デジタル道路地図データベースに関連する一般分野

2.2 分野Ⅰ (DRM 特定分野)

DRM 協会の事業環境や事業実施を背景として特別に設定するテーマに対するソリューションに係る研究

本年度は次を設定します。

(Ⅰ－1) DRM データベースを利用した道路管理に該当する研究テーマ

(Ⅰ－2) センシングデータ(道路沿線点群データ)を利用した道路管理に該当するテーマ

(Ⅰ－3) DRM データベースを利用したコンテンツ情報、流通に関するテーマ

(Ⅰ－4) 道路地図の標準化(ISO 化)に関するテーマ

(Ⅰ－5) 走行時記録画像による道路沿線点群データ生成に関するテーマ

2.3 分野Ⅱ (デジタル道路地図データベースに関連する一般分野)

現在 DRM 協会が提供するデジタル道路地図データベースに関連し、次に該当する研究

(Ⅱ－1) デジタル道路地図関連の情報収集や資料収集の方法に関する研究

(Ⅱ－2) デジタル道路地図の作成方法に関する研究

(Ⅱ－3) デジタル道路地図の精度及び鮮度向上に関する研究

(Ⅱ－4) デジタル道路地図及び応用システムの高度化に関する研究

(Ⅱ－5) デジタル道路地図の利活用に関する研究

(Ⅱ－6) デジタル道路地図の新しい概念や形態に関する研究

(Ⅱ－7) その他、デジタル道路地図に関する研究

3. 研究期間

令和2年7月から令和3年3月末日まで

4. 助成金額及び件数

研究の遂行と研究成果の取りまとめに必要な経費として、各分野で次のとおり助成いたします。

(分野Ⅰ) 1研究につき、その都度限度額を決定して助成します。なお、本年は200万円を限度とし、助成件数は1～2件を予定しています。

(分野Ⅱ) 1研究につき、100万円を限度として助成します。

なお、助成件数は2～4件を予定しています。

5. 貸与品

必要に応じ、研究に使用するDRMデータベースを貸与いたします。

6. 応募方法

- (1) 研究者は研究課題Ⅰ、Ⅱそれぞれ応募できますが、採択はいずれか一つとなります。
- (2) 別に定める研究助成申請書に必要事項を記入し、下記の研究助成事務局宛てに電子メールにてお送りください。
- (3) 複数の研究者が関与する場合には代表者を定め(1人で研究する場合には本人が代表者)、代表者に申請いただきます。
- (4) 申請に際し、研究者の所属機関の内規による諸手続きや研究実施に必要な承認手続きが必要な場合は、代表者の責任において行っていただきます。
- (5) 提出いただいた申請書類は返却いたしません。

*:研究助成申請書は以下ホームページよりダウンロードできます。

<https://www.drm.jp/令和2年度-研究助成の募集/>

7. 申請書類送付先

一般財団法人日本デジタル道路地図協会

「研究助成事務局」檜林宛て電子メール(narabayasi@drm.or.jp)に申請書 pdf ファイルを添付して応募してください。

8. 応募期間

令和2年4月6日(月)から5月22日(金)まで(必着)

申請書類を受理後、研究助成事務局より代表者へ電子メールにて受理済の通知をお送りいたします。

申請書類を送付したにもかかわらず5月26日(火)を過ぎても受理通知が届かない場合は、電子メールにて研究助成事務局へお問い合わせください。

9. 選考方法

助成する研究は、DRM 協会の審査委員会の審査により厳正に選考の上決定します。

各分野社会への貢献、学術的意義、研究計画の具体性等に重点をおいて審査します。

10. 選考結果

選考結果は、研究助成事務局より応募されたすべての代表者宛てに書面にて通知します。

なお、採否の理由についてのお問い合わせには応じかねます。

11. 研究助成金の支払い

採択された研究について代表者の所属する機関が指定する方法でお支払いします。

12. 研究の遂行と報告書の提出

採択された研究は、提出した研究計画に則り、研究を遂行していただくとともに、別に定める所定の様式に基づき、研究報告書(含む中間報告)を研究助成事務局に提出していただきます。

13. スケジュール

選考:	令和2年6月中旬
選考結果通知:	令和2年6月下旬
中間報告(2回):	令和2年11月末、令和3年2月末
研究報告書提出:	令和3年4月下旬
成果報告会:	令和3年6月中旬

14. その他

- (1) 申請内容についての秘密は厳守し研究者の個人情報の保護に努めます。ただし、審査の委員には審査のためにのみ必要な情報が開示されます。
- (2) 採択された研究の代表者名、研究機関名、研究題目は DRM 協会 Web サイトや機関誌等で公表されます。
- (3) 研究報告書は、DRM 協会が作成する研究助成報告書様式にまとめて提出いただきます。研究報告書の著作権は研究者に属しますが、審査委員会の委員、DRM 協会賛助会員及び協会関係者に開示され、pdfファイルとして会員専用 Web サイトからダウンロードされることをご了解ください。
- (4) 研究成果は、DRM 協会が別途開催する報告会において報告していただきます。研究報告会発表資料(MicroSoftパワーポイント資料)の著作権は研究者に属しますが、審査委員会の委員、DRM 協会賛助会員及び協会関係者に開示され、pdfファイルとして会員専用 Web サイトからダウンロードされることをご了解ください。
- (5) 研究により新たに発生した特許及び著作権は研究者に帰属しますが、研究成果を論文等により公表するに当たっては、DRM 協会から研究助成を受けた旨を論文に明記してください。当該論文等、資料を添付の上、DRM 協会へ報告をしていただきます。

* 本件に関する電子メールでのお問い合わせは下記までお願いいたします。

研究助成事務局 narabayasi@drm.or.jp

電話:03-3222-7990

担当:研究開発部 檜林

以上